



JR大阪駅近くの工事現場 地下の鉄製の管が地上部分にせり出す

2026年3月11日午前9時58分

(2026年3月11日午後0時56分更新)

大阪府

11日朝、大阪 北区の国道の工事現場で、地下に埋められていた鉄製の管が10メートルほどの高さまでせり出しているのが見つかり、大阪府が詳しい原因などを調べています。けが人はいませんでした。

警察によりますと、11日午前7時前、大阪 北区のJR大阪駅近くにある国道の工事現場で「コンクリートが上から落ちてきている」と110番通報がありました。

警察が現場を確認したところ、地中に埋まっていた直径3.5メートルの鉄製の管が、地上部分に高さ10メートルほどまで、せり出していたということです。

けが人は、いませんでした。

警察は、せり出したのは下水道の管だとしていましたが、大阪市によりますと、深さおよそ30メートルまで垂直に埋められていた工事のための管だということです。

市によりますと、現場では、雨水をためる管を地中に埋設するための工事が行われていて、10日夜から11日朝にかけても工事が行われていたということです。

現場では、せり出した管は徐々に下がってきていて、大阪市が詳しい状況や原因を調べています。

付近では、国道などの通行止めが続いています。

現場近くの会社の男性 “一日何度も通る道路 理解し難く驚いた”

現場近くの会社に勤める50代の男性は「仕事で一日に何度も現場を通りますが、心だん車が走っている道路に柱が出てきて、理解し難い状況で驚いています。地中からせり上がっているなら、別の場所でも起こるおそれがあるので、その経緯や原因を知りたいです」と話していました。

注目ワード

大阪府

あわせて読みたい

NO PRINTING

東日本大震災から15年 死者・行方不明者は2万2230人に

3月11日午後1時46分

イランがホルムズ海峡に機雷を敷設か 米報道

3月11日午前7時48分

NO PRINTING